

## Pioneer DJ



↑音像定位が確認しやすく、より正確なモニタリングが可能な同軸ドライバを搭載したスタジオモニターRM-05(写真左)とRM-07(写真右)を出展

## メディア・インテグレーション



↑3インチのウーファーを搭載した小型の筐体ながら高解像度DSP回路を内蔵し、正確な再生を可能にしたイヴ・オーディオの最新モニタースピーカーSC203

## ヒビノ



↑dbxからコンプやマイクプリなど、500シリーズのアウトボードを4種類出展。発売は2016年の3月頃を予定しており、専用ラックなども開発中とのこと

## ヤマハ



↑モニターヘッドホンHPH-MTシリーズに、宅録からライブまで対応する新製品HPH-MT7が加わった。写真は、ホワイトカラーのHPH-MT7W

## Music Group Comarcal JP



↑商業施設の壁などに設置ができる全天候型の防塵・防滴仕様2ウェイ・ラウドスピーカー、タンノイAMSシリーズ。音が良く耐久性にも優れている

## ローランド



↑ライブミキサーM-5000シリーズがバージョン1.2にアップデート。画面表示がより見やすくなり、リアルタイム・アナライザーなどの新機能も装備された

### ラインアレイスピーカー体験デモ

## INTER BEE EXPERIENCE

ラインアレイスピーカーは、少ないパワーで明瞭度に優れた音響環境が作れるんです。



←ラインアレイスピーカー体験デモのトータルデザインとプロデュースを手掛けた株式会社sound design.の代表を務める大内健司氏

「ラインアレイ」とは、いくつもの小型スピーカーを縦につなげていく手法のことで、一番の魅力は、スピーカーやアンプに搭載されたDSP(デジタル・シグナルプロセッサ)により、パソコン上で室内の広さや客席に合わせた音響調整が集中管理できる点にあります。1台1台のスピーカーの音を、どこにどれだけ飛ばすかが正確に調整できるのが特徴で、例えば「会場の売店や受付付近には音を飛ばさない」なんていうこともスピーカーに一切手を触れずにできます。また、天井や床の余分な音の反射を抑えることもできますから、少ない出力で大型のPAシステム以上のパワー感と明瞭度が得られるんです。ですから、大規模なホール

だけではなく、ライブハウスや室内、学校の教室や体育館などの小規模な会場でも、非常に効果的に運用できるんですよ。

今回のデモは、鉄製パイプを使った組み立て式の足場(イントレ)を7段、10mの高さに組んで、スピーカーの吊り上げ作業とバラしの作業を見ていただけるようにしました。裏側の様子は、大型スクリーンに映し出して2階席に座っている人にもわかるようにしました。

進行中に気がついたことですが、設置スピードが去年より速くなっていましたね。どのメーカーも10分程で吊り上げ作業を完了していました。これはすごい進化です。シンプルで安全に作業ができるようになっていますが、大型のPAシステムではこうはいかないんです。

### 参加各社 ※デモンストレーション順

- (株)ヤマハミュージックジャパン
- ライブギア(株)
- ヒビノインターサウンド(株)
- ベステックオーディオ(株)
- (株)エイ・ティー・エル
- 音響特機(株)
- ボース(株)

INTER BEEの目玉企画である「ラインアレイスピーカー体験デモ」が、3日間イベントホールで行なわれました。参加メーカーは、昨年を上回る13社。そのシステムの魅力を、イベントを統括した大内健司氏に教えてもらいました。



↑デモでは、1社1時間の制限時間内に、スピーカーの設置作業から音出し、降ろし作業までを来場者に見せ、音の良さと設置のしやすさをアピールしていた

- TOA(株)
- (株)マーチンオーディオジャパン
- ディーアンドビー・オーディオテック・ジャパン(株)
- ヒビノ(株)
- (株)イースタンサウンドファクトリー
- (株)エレクトリ